

名刺張りつけOK・観光情報TVも

「古くて新しい」

幸福駅の旅立ち

老朽化のため帯広市が改築工事を進め、16日に新駅舎がお披露目された旧国鉄広尾線「幸福駅」。大勢の市民や観光客が集まり、

「恋人の聖地」に認定されている幸福駅の新たな門出を祝った。

新しい駅舎は、「古くて新しい」をテーマに、旧駅



改築された幸福駅の壁に切符を張り、記念写真に笑顔を見せるカップル＝帯広市

舎の外壁のほぼ5割を再利用した。駅舎内には観光情報などを発信する高画質の4Kテレビを使った電子看板も置かれた。旧駅舎同様、名刺や切符などを張る

ことができる。

式典のコンサートでは、幸福駅ゆかりのヒット曲「愛の国から幸福へ」（1974年）を、歌手の芹洋子さんが地元の小学生と歌った。芹さんは「次の世代に歌い継がれることは幸せ。私にとっても、うれし

い新たな旅立ちです」と話していた。

お披露目に合わせて幸福駅を訪れたカップルの中には、サプライズ求婚する男性も。「幸せにします」とのプロポーズの言葉に、女性も驚きながら「幸せです」。